

信濃町の埋蔵文化財

# 平成14年度町内遺跡発掘調査報告書

2003

信濃町教育委員会

## 例 言

- 1 本書は平成14年度に実施した長野県上水内郡信濃町における開発事業に伴う発掘調査、試掘調査、立会調査の報告書である。
- 2 調査は国および県からの補助金交付を受けて信濃町教育委員会が実施した。
- 3 本書の執筆・編集は調査担当者である渡辺哲也がおこなった。編集の補佐を藤田桂子がおこなった。
- 4 本調査の遺物、実測図、写真等の資料はすべて信濃町教育委員会に保管されている。

出土資料の注記番号は次の通りである。川久保遺跡 [02KK]、狐久保遺跡 [02KT]、東裏遺跡 [02HU]、雲仙寺遺跡 [02RZ]。

- 5 調査体制は以下のとおりである。

調査主体者 信濃町教育委員会

事務局長 教育長 小林 豊雄  
 総務教育課長 佐藤謙一郎  
 総務教育係長 丸山佳代子

調査担当者 総務教育係 渡辺 哲也

### 発掘参加者

(川久保遺跡) 佐藤美佐江、佐藤道子、藤田桂子、松岡さとみ、松木圭子

(照月台遺跡) 田村 勇、東 貢、深沢政雄、藤田桂子

(狐久保遺跡) 小日向千代子、小林ミチエ、高田昭夫、高遠三治、滝沢敏雄、中村幸治、深沢政雄、藤田桂子、松岡さとみ

(東裏遺跡) 小林八重子、佐藤孝治、高橋是浩、田村 勇、徳水 門、東 貢、平塚せつ子、藤田桂子、松岡さとみ、山崎啓一、若月あや子

(雲仙寺遺跡) 石田和子、大沢正志、落合春人、金子シズイ、佐藤孝治、沢沢ユキ子、高遠三治、田村 勇、徳水 門、中村幸治、藤田桂子、山崎啓一

### 整理参加者

佐藤美佐江、佐藤道子、菅谷澄子、藤田桂子、松岡さとみ、松木圭子、横山真理子

## 目 次

例 言	1
I 信濃町の環境と遺跡	1
1 自然的環境	1
2 歴史的環境	2
II 調査の内容及び成果	2
1 川久保遺跡	2
2 照月台遺跡	3
3 狐久保遺跡	3
4 東裏遺跡	4
5 仁之倉A遺跡	12
6 向原遺跡	13
7 雲仙寺遺跡	13

## I 信濃町の環境と遺跡

### 1 自然的環境

信濃町は長野県の北端に位置し、新潟県と県境を接している。町域は東西方向に概ね3つの地形に分けることができる。東部は第三紀鮮新世から第四紀前期更新世の堆積岩を主体とする基盤山地が占め、それらの上を斑尾山起源の安山岩溶岩が覆っている。野尻湖はこの基盤山地の中に位置し、およそ7万年前にその原形ができたといわれている。西部は第四紀中・後期更新世の飯縄山、黒姫山の火山地形が占める。この東西の山地に挟まれた中央部に低地帯があり、主に後期更新世から完新世の湖



図1 調査地の位置（国土地理院発行の5万分の1の地形図「妙高山」[「戸隠」]を使用）

1. 川久保遺跡
2. 照月台遺跡
3. 狐久保遺跡
4. 東裏遺跡
5. 仁之倉A遺跡
6. 向原遺跡
7. 雲仙寺遺跡

沼、河川堆積物や泥流堆積物からなる丘陵や段丘、低湿地などになっている。関川水系と千曲川（信濃川）水系の両者を分かつ分水嶺は信濃町柏原地区に位置し、山間地では珍しい平坦な高原状の地形が広がっているため、内陸部から日本海へ通じるルートとして古くから利用されていたと考えられる。人々の居住域の標高は700m前後で、日本海側の気候に入り、冬期は多雪で、夏期は比較的冷涼である。

## 2 歴史的環境

信濃町は日本海側と内陸部とをつなぐ交通の要所であり、江戸時代には北国街道が整備され、野尻、柏原、古間には宿場が設けられていた。また、関川を境として信濃と越後の国境という歴史的な地理的特徴を有している。現在町内には173ヶ所の遺跡が確認されているが、時代により遺跡数の変遷に次のような特徴が見出せる。1) 旧石器時代の遺跡が集中する。2) 縄文時代では草創期、早期、前期の遺跡は複数存在するが、中期以降の遺跡は少なくなる。3) 縄文時代中期以降、弥生時代、古墳時代の遺跡はわずかで、平安時代になると遺跡数が増加する。

## II 調査の内容及び成果

### 1 川久保遺跡

下水道管敷設工事は幅約90cmで40mにわたって掘削することになっており、その範囲に150×80cmのトレンチを6ヶ所設置した。調査の結果、遺物43点が出土したが遺構は確認できなかった。遺物は旧石器時代、平安時代、近代のものが混在して黄褐色土を含む黒褐色土から出土しており、攪乱されていることがわかった。旧石器時代の遺物では珪質頁岩製の石刃が1点出土したが、周縁には多数の新しい剥離痕（ガジリ）が見られた。遺構がなく、広範囲で攪乱を受けていることから本調査は必要ないと判断した。

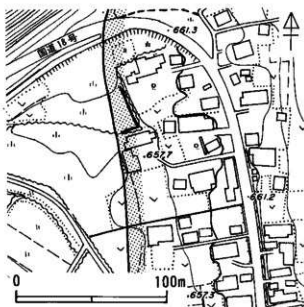


図2 川久保遺跡の調査範囲（黒くぬった範囲）

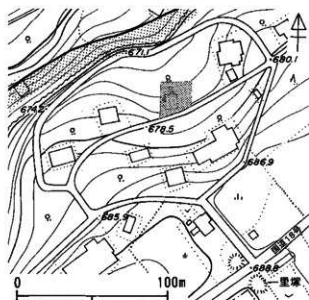


図3 黒月台遺跡の調査範囲

表1 調査の概要一覧（番号は図1に対応）

番号	遺跡名	所在地	事業主体	原因	調査の種類	調査面積 (㎡)	調査期間	遺跡の時代	出土遺物点数	特記事項
1	川久保	大字野尻916-3	信濃町(下水道課)	下水道管敷設	試験調査	7.2	11/18-11/20	旧石器・平安・近世	43	遺構なし。遺物は攪乱層から出土。
2	黒月台	大字野尻520-25	個人	住宅建設	試験調査	8.5	10/2-10/3	旧石器	0	遺構・遺物なし。
3	狐久保	大字野尻371	個人	住宅建設	試験調査	38	4/22-4/26	弥生	103	弥生土器出土。遺構なし。
4	東裏	大字柏原353-9ほか	個人	住宅建設	発掘調査	48	5/14-5/22	旧石器・近世	264	神山型土器を含む土器群を確認。
5	仁之倉A	大字柏原4388-1ほか	黒森和彦事務所	工場建設	立会調査	236(工事面積)	10/4	縄文	0	遺構・遺物なし。
6	向原	大字平岡223-1ほか	信濃町(保健福祉課)	介護予防施設建設	立会調査	269(工事面積)	10/23	縄文	0	遺構・遺物なし。
7	雲仙寺	大字大井2861-2ほか	牟礼村(建設水道課)	ため池建設	試験調査	186	11/5-11/20	縄文・平安	18	遺物確認。遺構は未確認。来年度本調査必要。

## 2 照月台遺跡

既存建物の周辺と浄化槽設置予定の箇所において試掘調査を実施した。トレンチを3ヶ所発掘したが、遺構、遺物は検出されなかった。

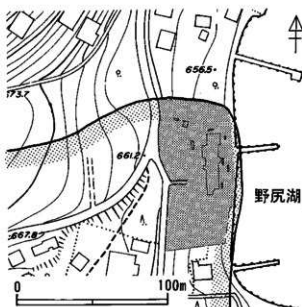


図4 狐久保遺跡の調査範囲

## 3 狐久保遺跡

既存建物の周囲と他の建設予定地について試掘用トレンチを設け、調査をおこなった。トレンチを8ヶ所設定して調査し、トレンチ2とトレンチ4から遺物が出土したためにその周囲を拡張した。トレンチ2からは弥生土器が礫の集中域から出土した。礫は握り拳大から人頭大、火を受けた痕跡は認められず、人が持ち込んだもの、自然に流れ込んだものの両方の可能性を考えておきたい。トレンチ4も同様に礫と土器片が出土したが、ここでは陶磁器も混在していた。弥生土器は47点が出土した。表

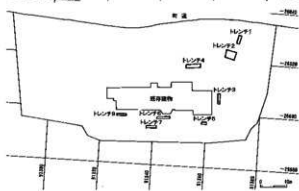


図5 狐久保遺跡の試掘トレンチの位置

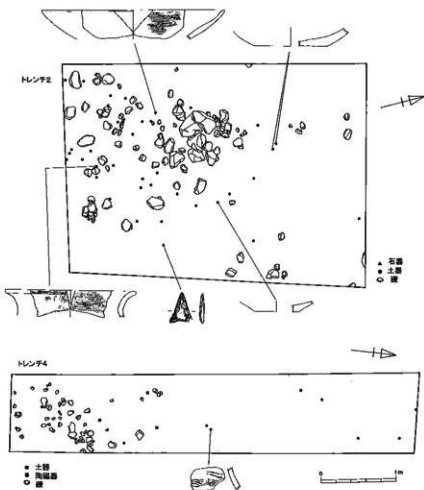


図6 狐久保遺跡の遺物分布

面の磨耗が著しく、時期の限定には根拠が乏しいが、北信濃に弥生文化が流入してくる弥生時代中期以降の所産としておきたい。



- 1: 表土
- 2: 赤土 暗褐色土に褐色土が混ざる
- 3: 黒褐色土(粘厚黒色火山灰層)  
褐色スコリアを少し含む 粘性なし、しまりあり
- 4: 黄褐色シルト 褐色スコリアを多く含む  
粘性なし、しまりあり

図7 狐久保遺跡の基本層序

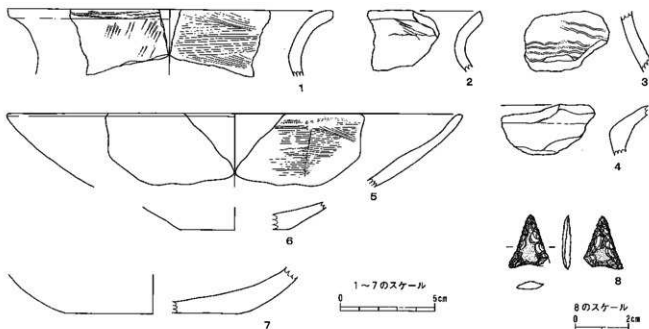


図8 須久保遺跡の出土遺物

#### 4 東裏遺跡 (2002個人住宅地点)

東裏遺跡内に計画された個人住宅建設に先だって、住宅建設によって破壊される可能性のある基礎工事部分と浄化槽工事部分について発掘調査を実施した。なお、浄化槽部分については遺物の包含層を掘りきっているが、基礎部分は工事で掘削する予定の深さまでに留めており、遺物包含層を完掘していない。調査により石器260点が4層を中心に出土した。この内106点を図化し、特徴を表2、3に示した。ここに示した石器群は神山型彫器を組成する石刃素材の石器群である。典型的な杉久保型ナ



図9 東裏遺跡の基本土層



図10 東裏遺跡の調査範囲

表2 東裏遺跡の主な出土遺物一覧(1)

図 番号	遺物 番号	遺物名	石材	標高 (m)	出土 層位	層中 の位置	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	打面 種類	折面の 有無	特 徴
1	94	ナイフ形石器	SS	687,450	4	中	3.1	1.6	0.7	2.01	—	—	石刃素材。打面を基部側出。
2	145	ナイフ形石器	Ob	686,680	4	中	3.6	1.2	0.6	1.48	○	○	石刃素材。基部。両側縁に一次加工。
3	67	ナイフ形石器	Ob	686,910	4	中	1.2	0.9	0.4	0.33	—	—	先端面。一個縁に一次加工。
4	210	ナイフ形石器	Ob	687,150	4	上	2.7	1.2	0.6	1.18	—	—	石刃素材。基部の両側縁に一回二次加工。
5	112	ナイフ形石器	Ab	687,432	3c	上	1.5	4.3	0.8	3.21	—	—	両側片葉を打面側へ一次加工。
6	148	ナイフ形石器	Ob	686,800	4	中	2.0	1.9	0.7	1.18	—	—	台状。背面と腹面に一次加工。
7	48	彫器	Ob	686,790	4	下	4.2	1.8	0.6	3.24	—	—	石刃素材。刃縁部生肉。刃先角88度。
8	8	彫器	Ob	686,650	4	上	2.2	1.3	0.8	1.27	○	○	石刃素材。神山型。刃部側面に微細彫刻痕。
9	115	彫器	Ob	687,270	4	上	3.5	2.3	0.9	5.35	—	—	神山型。刃先角68度。
10	93	彫器	TS	687,530	4	上	3.4	6.3	1.8	36.31	—	—	上から1葉。下から2葉の彫刀面作出。
11	130	彫器	Ab	687,880	3c	中	4.5	2.4	1.0	9.22	—	—	神山型。刃先角50度。上12葉、下22葉。
12	123	彫器	Ob	687,540	4	上	2.0	4.5	0.9	6.08	—	○	基部の両側片葉を打面側へ一次加工。
13	222	彫器	Ob	686,590	4	中	2.0	2.9	0.9	4.42	—	—	素材の両側縁に彫刀面作出。
14	69	彫器	Ob	687,000	4	中	4.4	4.8	1.2	15.55	—	—	神山型。腹面に打面彫刻。刃部は欠損。
15	72	彫器	SS	687,700	4	上	3.2	1.0	0.4	0.73	—	—	背面に1葉の縁状彫刻痕。刃部角70度。
16	9	彫器	Ob	686,830	3a	上	1.1	0.4	0.3	0.09	—	—	打面割れあり。新産角97度。
17	50	彫器	Ob	686,830	4	中	5.6	1.3	1.2	5.91	—	—	上下両縁が欠損。腹面割れあり。
18	41	彫器	Ob	686,830	4	上	1.9	2.2	0.6	2.43	—	—	両側片葉。
19	256	石片	Ob	686,830	4	中	4.2	1.7	0.7	4.33	—	—	石刃の基部に微細彫刻痕あり。刃部角88度。
20	99	石片	Ab	687,500	4	上	5.5	5.8	1.6	34.19	—	—	打面側の腹面に平坦彫刻あり。

表3 東真遺跡の主な出土遺物一覧(2)

図 号	遺物 番号	遺物 名	石材	標 高	出土 層位	面割 の位置	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重さ (g)	打痕 の有無	特徴
21	12	石刀	Ob	686,690	4	中	3.2	1.1	0.5	0.80	○	末端に微細割縁あり。
22	203	石刀	Ob	687,160	4	上	5.2	1.5	0.7	3.01	調整	割縁角82度。
23	139	石刀	Ob	686,680	4	上	4.5	1.2	0.7	1.78	調整	割縁角82度。割縁調整あり。
24	117	石刀	Ob	687,400	4	上	4.6	1.3	0.9	2.22	調整	検定。割縁角74度。割縁調整あり。
25	102	石刀	Ob	687,540	4	中	3.7	0.6	1.0	0.70	調整	打痕割縁面にはじけ。
26	77	割片	Ob	687,610	4	上	2.9	1.9	2.1	1.19	調整	上下割縁欠損。
27	190	割片	Ob	686,920	4	上	2.8	1.3	0.4	1.15	調整	上下割縁欠損。
28	60	割片	Ob	687,020	4	上	1.7	1.3	0.5	1.00	調整	上下割縁欠損。
29	126	割片	Ob	687,930	1	上	1.6	1.4	0.6	0.67	調整	上下割縁欠損。
30	211	石刀	TS	687,150	4	上	7.3	2.3	0.8	8.51	調整	割縁角86度。
31	107	石刀	TS	687,370	4	上	6.0	1.5	0.7	3.51	調整	打痕欠損。
32	200	石刀	TS	687,100	4	上	1.5	1.1	0.3	0.49	調整	割縁角88度。
33	84	石刀	Ob	687,660	4	上	11.0	1.3	0.4	12.35	調整	割縁角123度。割縁調整あり。
34	194	割片	Ch	686,830	4	中	1.8	0.8	0.4	0.34	調整	割縁角101度。
35	146	割片	An	686,800	4	上	1.4	0.9	0.4	0.26	調整	上下割縁欠損。
36	250	割片	Ob	686,780	4	中	3.2	2.2	0.5	2.73	調整	割縁角82度。割縁調整あり。
37	20	割片	Ob	686,890	4a	上	2.9	2.1	1.2	5.38	調整	割縁角84度。主要欠損。
38	113	割片	Ob	687,220	4	上	3.7	1.9	1.0	3.88	調整	割縁角97度。主要欠損。
39	80	割片	An	687,210	1	上	2.5	4.3	0.8	8.15	調整	検定。割縁角123度。主要欠損。
40	84	割片	An	687,492	4	中	4.0	4.3	1.0	8.15	調整	検定。割縁角108度。割縁調整あり。
41	78	割片	Ob	687,610	4	上	3.9	3.4	0.9	10.06	調整	割縁角88度。主要欠損。
42	109	割片	Ob	687,470	4	上	4.3	4.2	2.0	21.56	調整	上下割縁欠損。
43	76	割片	TS	687,570	4	上	7.6	5.3	1.0	33.48	調整	割縁角94度。割縁調整あり。
44	81	割片	An	687,700	1	上	5.2	4.4	1.2	18.32	調整	上下割縁欠損。
45	120	割片	Ch	686,940	4	中	6.2	3.6	1.3	13.48	調整	割縁角104度。
46	121	割片	An	687,530	4	上	3.6	1.6	0.4	5.77	調整	上下割縁欠損。
47	235	割片	Ob	686,690	4	中	3.6	2.4	0.7	3.94	調整	割縁角103度。
48	215	割片	Ob	687,050	4	中	3.6	3.0	1.0	6.31	調整	彫造の痕跡の可能性あり。
49	110	割片	Ob	687,430	4	上	3.4	2.0	0.8	1.85	調整	上下割縁欠損。
80	122	割片	Ob	687,560	4	上	2.5	3.3	0.9	3.22	調整	微細割縁面あり。
51	55	割片	Ob	686,880	4	中	2.0	2.6	0.8	1.52	調整	打痕欠損。
52	238	割片	Ob	686,650	4	中	2.6	2.2	0.6	2.19	調整	割縁角101度。主要欠損。
53	52	割片	Ob	686,510	4	中	1.4	1.1	0.4	0.30	調整	割縁角103度。彫造痕跡。末端割縁面。
54	108	割片	Ob	687,330	4	上	2.6	1.2	0.8	1.34	調整	主要欠損。
55	73	割片	Ob	687,680	4	上	2.8	1.6	0.7	1.15	調整	主要欠損。
56	11	割片	Ob	686,700	4	上	2.0	1.4	0.5	0.74	調整	調整
57	56	割片	Ob	686,810	4	中	1.9	2.7	0.8	1.88	調整	割縁角96度。
58	116	割片	Ob	687,270	4	上	1.4	1.7	0.7	0.68	調整	割縁角101度。
59	204	割片	Ob	687,100	4	上	1.3	1.5	0.5	0.52	調整	調整
60	153	割片	Ob	686,840	4	上	1.4	2.7	0.6	1.04	調整	割縁角128度。
61	16	割片	Ob	686,780	3c	上	0.9	1.1	0.7	0.25	調整	割縁角103度。検定調整あり。
62	218	割片	Ob	687,050	4	上	1.3	2.7	0.7	0.91	調整	割縁角100度。
63	90	割片	Ob	687,560	4	上	1.7	2.2	0.9	1.24	調整	調整
64	238	割片	Ch	687,060	4	中	3.7	3.1	0.9	8.00	調整	割縁角88度。
65	229	割片	Ch	686,680	4	中	1.7	2.7	0.6	2.58	調整	割縁角109度。割縁調整あり。
66	168	割片	Ob	686,910	4	上	1.2	1.1	0.4	0.52	調整	割縁角102度。割縁調整あり。
67	54	割片	Ob	686,850	4	中	2.2	2.1	0.7	2.32	調整	割縁角118度。
68	104	割片	Ch	687,530	4	中	1.6	2.3	0.8	1.40	調整	割縁角105度。
69	49	割片	Ch	686,790	4	下	1.7	2.6	0.7	1.99	調整	割縁角85度。
70	79	割片	Ch	687,550	4	中	2.3	2.1	0.9	2.51	調整	割縁角112度。
71	175	割片	An	686,960	4	上	5.0	5.9	1.2	13.83	調整	割縁角109度。
72	182	割片	An	686,850	4	中	1.8	1.5	0.3	0.53	調整	割縁角102度。割縁調整あり。
73	158	割片	An	686,880	3a	中	1.3	1.2	0.4	0.26	調整	割縁角99度。
74	28	割片	An	686,530	4	上	1.1	2.2	0.4	0.56	調整	割縁角136度。割縁調整あり。
75	19	割片	An	686,910	3b	上	2.6	2.1	0.4	1.48	調整	割縁角139度。割縁調整あり。
76	241	割片	An	636,530	5	上	2.5	2.0	0.4	0.84	調整	割縁角120度。
77	242	割片	An	686,870	4	下	3.8	3.0	0.6	2.67	調整	割縁角87度。
78	32	割片	An	686,900	3c	上	2.3	2.2	0.8	1.89	調整	割縁角100度。割縁調整あり。
79	225	割片	An	686,850	4	上	1.5	2.5	0.6	1.01	調整	割縁角97度。
80	164	割片	An	687,030	3a	中	2.8	1.8	0.4	0.88	調整	割縁角95度。
81	30	割片	An	686,880	4	中	2.3	2.6	0.4	0.97	調整	割縁角97度。
82	23	割片	An	686,860	4	上	2.3	2.7	0.6	1.49	調整	割縁角142度。割縁調整あり。
83	21	割片	An	686,790	4	中	2.1	1.6	0.8	0.51	調整	割縁角145度。
84	174	割片	An	686,900	4	中	2.8	2.3	0.6	2.24	調整	割縁角140度。割縁調整あり。
85	176	割片	An	686,960	4	上	2.8	2.2	0.6	1.68	調整	割縁角142度。割縁調整あり。
86	164	割片	An	687,030	3a	中	3.8	2.7	0.5	3.05	調整	割縁角129度。割縁調整あり。
87	188	割片	An	686,960	4	上	1.5	2.2	0.5	0.73	調整	割縁角128度。割縁調整あり。
88	226	割片	An	686,870	4	中	4.4	3.1	0.7	5.26	調整	割縁角114度。
89	167	割片	An	686,930	4	上	3.7	3.5	0.7	7.14	調整	割縁角113度。
90	170	割片	An	686,910	4	上	4.1	3.1	0.5	2.68	調整	割縁角110度。
91	253	割片	An	686,850	5	上	1.7	2.3	0.5	0.68	調整	割縁角104度。
92	39	割片	An	687,010	3c	上	3.7	3.0	0.6	4.78	調整	割縁角149度。
93	182	割片	An	686,880	4	上	3.2	4.4	0.7	7.42	調整	割縁角138度。
94	172	割片	An	686,910	4	中	3.9	1.5	0.6	5.51	調整	調整
95	198	割片	An	687,140	3c	中	3.9	2.1	0.5	3.28	調整	割縁角88度。割縁調整あり。
96	186	割片	An	686,890	4	中	2.6	1.7	0.6	0.84	調整	割縁角100度。
97	263	割片	An	686,850	4	中	1.2	1.7	0.4	0.45	調整	割縁角125度。
98	243	割片	An	686,870	4	下	1.2	1.8	0.4	0.52	調整	割縁角93度。
99	185	割片	An	687,030	3a	中	2.7	1.9	0.6	2.07	調整	割縁角104度。割縁調整あり。
100	185	割片	An	686,880	3a	中	2.9	2.3	0.5	1.62	調整	割縁角97度。
101	162	割片	An	686,930	4	上	1.6	2.2	0.4	0.72	調整	割縁角112度。
102	173	割片	An	686,890	4	中	1.6	1.6	0.6	0.51	調整	割縁角137度。
103	261	割片	An	686,840	4	中	3.6	4.1	0.6	5.38	調整	調整
104	132	石核	Ch	687,940	2	中	3.5	4.1	2.6	41.22	調整	割縁角90度。
105	137	石核	Ob	686,660	4	上	3.2	2.7	1.4	6.88	調整	割縁角117度。
106	71	石核	Ch	687,060	3c	中	2.9	1.7	1.4	5.83	調整	割縁角94度。

石材付-Ob-黒曜石、An-無垢高品質安山岩、SS-珪質頁岩、TS-凝灰質頁岩、Ch-チャート、Ja-炭石英  
打痕調整-調整、調整打痕、準-準割縁面打痕、検-検割縁面打痕、線-線打痕、磨-磨面打痕

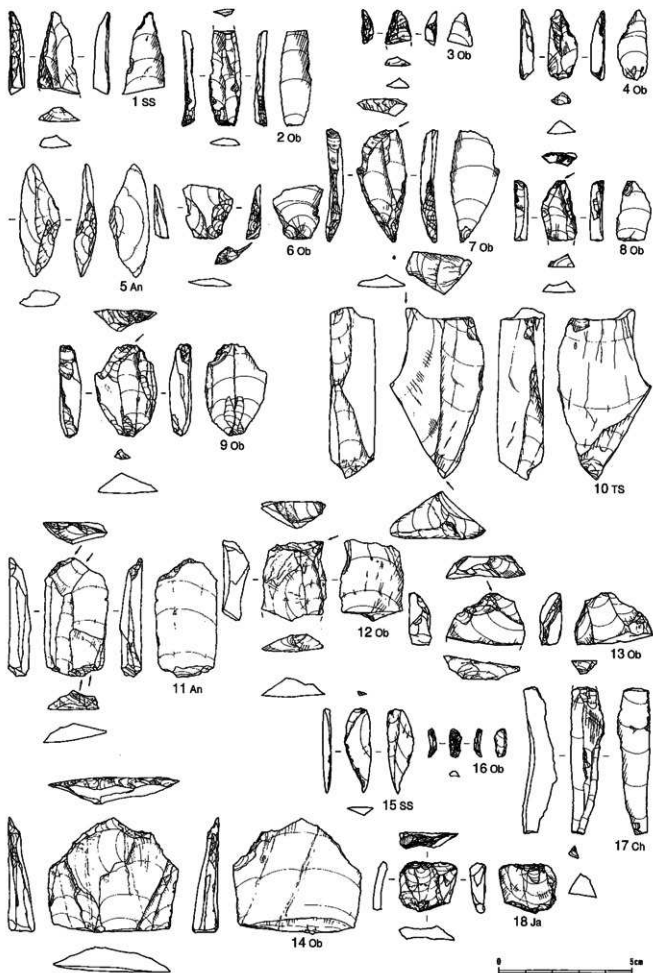


図11 東裏遺跡の主な出土遺物(1)

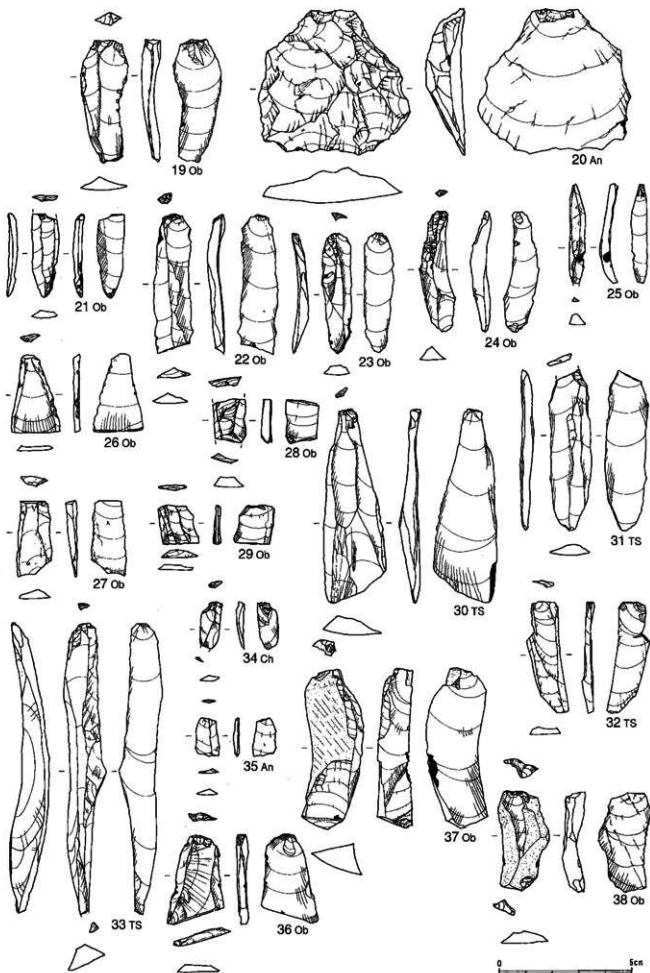


図12 東真遺跡の主な出土遺物(2)



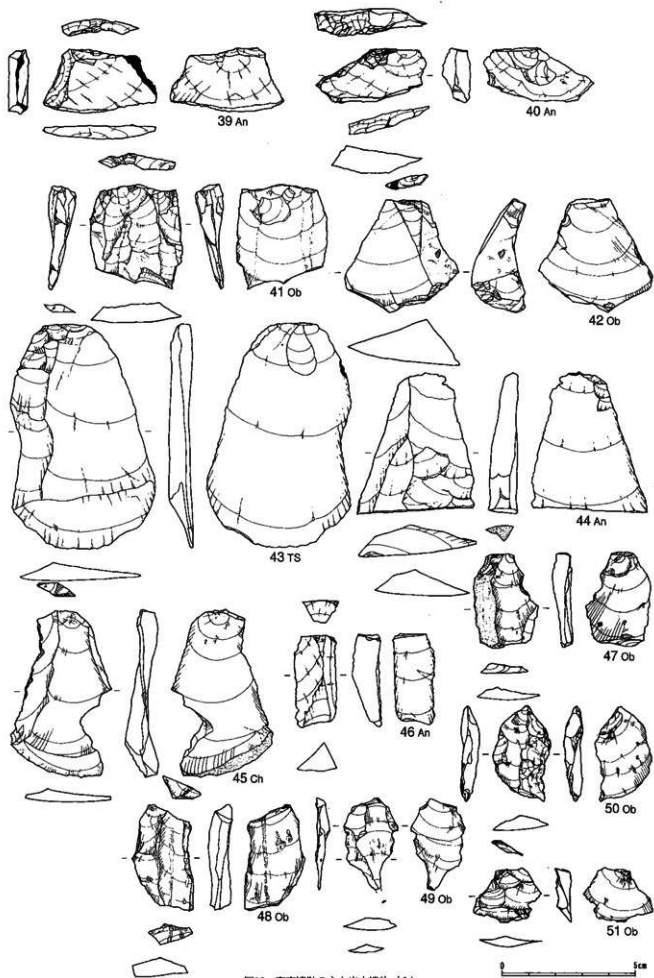


図13 東裏遺跡の主な出土物(3)



図14 東墓道跡の主な出土遺物 (4)

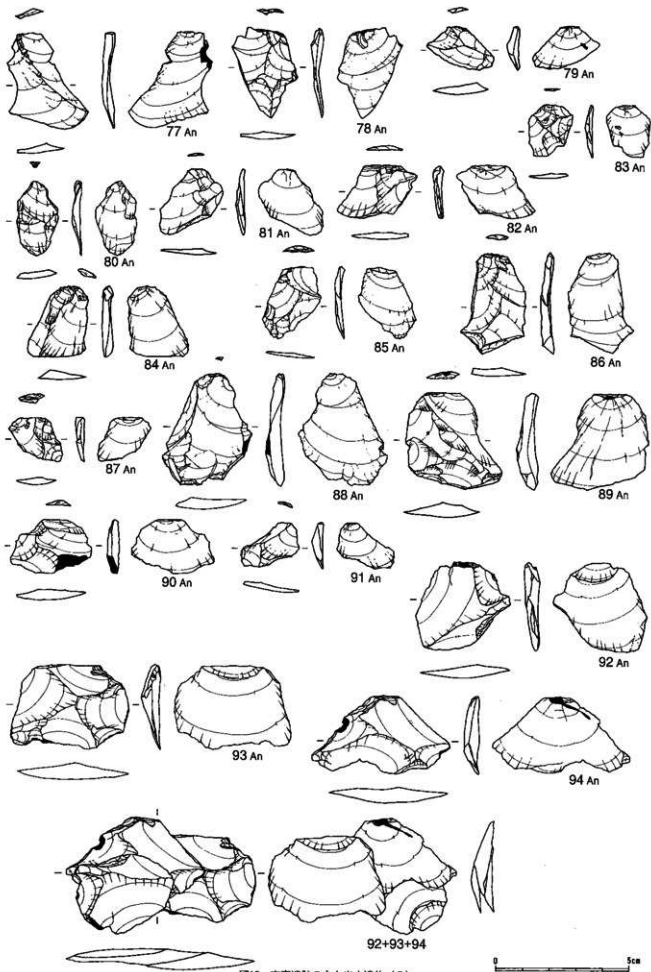
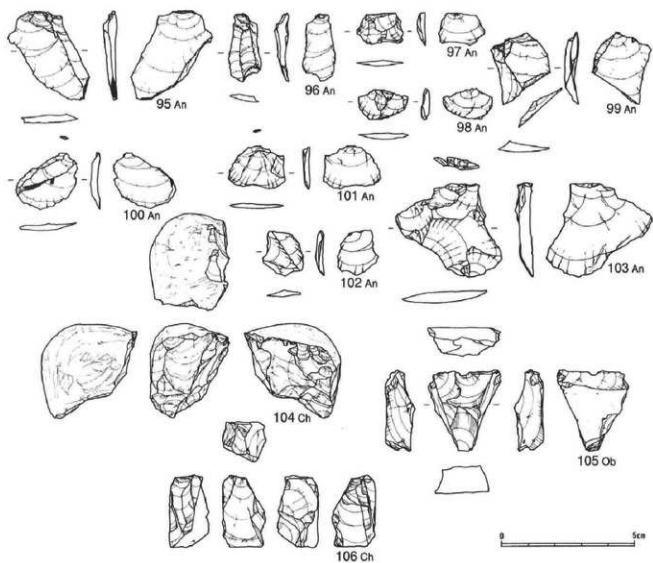


図15 東漢遺跡の主な出土遺物 (5)



※図11～16で遺物の番号の後ろに石材の略号を付けた。略号の説明は表3の欄外を参照されたい。  
発掘時についた新しい割離痕は、黒くぬりつぶして表現した。

図16 東裏遺跡の主な出土遺物（6）



東裏遺跡の石器出土状況(近景)①



東裏遺跡の石器出土状況(近景)②

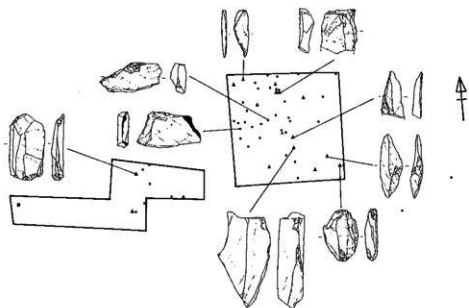
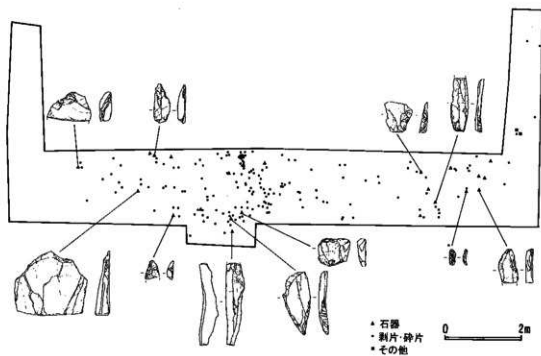


図17 東裏遺跡の遺物分布



● 石器  
 ● 剥片・碎片  
 ● その他  
 0 2m

イフ形石器は組成していない。無斑晶質安山岩素材で剥離角が鈍角の幅広の剥片を剥離する技術が見られる(71~103)。また、横長剥片の剥離技術と横長剥片を素材としたナイフ形石器(5, 39, 40)も存在する。こうした組成から、杉久保型ナイフ形石器が組成される時期よりもやや先行した時期と位置づけておきたい。

### 5 仁之倉A遺跡

現在駐車場となっている部分に工場の建設が計画された。この位置が遺跡の境界付近であること、駐車場の建

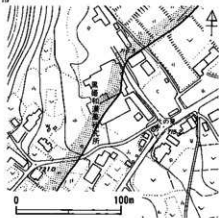


図18 仁之倉A遺跡の調査地図

設時に土地の変更がおこなわれている可能性が高いことなどから工事立会とした。バックホーによる慎重な掘削に立ち会ったが、遺物包含層の黒色土（柏原黒色火山灰層）がすでにないことが分かり、工事による遺跡への影響はないことを確認した。

## 6 向原遺跡

信濃町の運動公園ふれあい広場の駐車場に介護予防施設の建設が計画された。この駐車場は傾斜地を埋め立てて造成されており、埋め立てにより遺跡が保護されている場所である。平均2mの高さで埋め立てられており、計画の建物の基礎はこの埋め立て土の中におさめる設計で、浄化槽など一部深く掘り下げる部分についてのみ工事立会をおこなった。

バックホーによる慎重な掘削に立ち会ったが、遺物、遺構は検出されなかった。

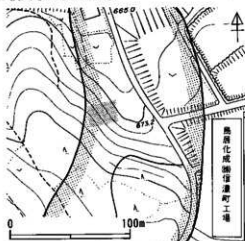


図19 向原遺跡の調査範囲

## 7 霊仙寺遺跡

平成14年8月に牟礼村からため池建設に伴う道路付け替えについて照会があったが、その際に開発予定地が霊仙寺遺跡の範囲内にあることを牟礼村に報告し、後日、

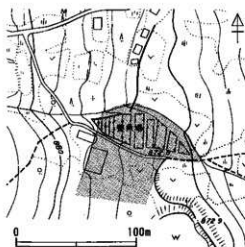


図20 霊仙寺遺跡の調査範囲

長野県教育委員会、牟礼村、信濃町教育委員会の三者による協議を実施した。協議では試掘調査で状況を把握することになり、11月に試掘調査を実施した。

調査の結果、遺物は3ヶ所から出土したが、住居跡などの遺構は検出できなかった。また、調査した道は霊仙寺の一の鳥居からの参道と考えられるが、道の遺構は検出できなかった。霊仙寺が繁栄していたとされる中世の遺物も出土しなかった。出土したのは土師器片であるが、小片のために時期の確定が難しく、概ね平安時代の所産と考えている。ほかに林地内のトレンチの1ヶ所で縄文土器が1点出土した。養魚場の埋立地はバックホーで掘削して状況を確認したが、1.5～2mにわたって埋め土がされており、遺跡が残っている可能性が低いと判断した。こうした状況から、ため池建設を実施する際は、遺物が出土した地点を中心に発掘調査が必要と判断される。

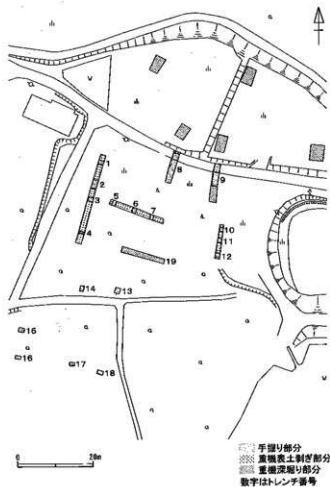


図21 霊仙寺遺跡のトレンチの位置

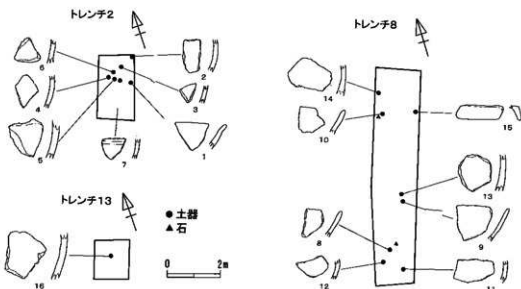
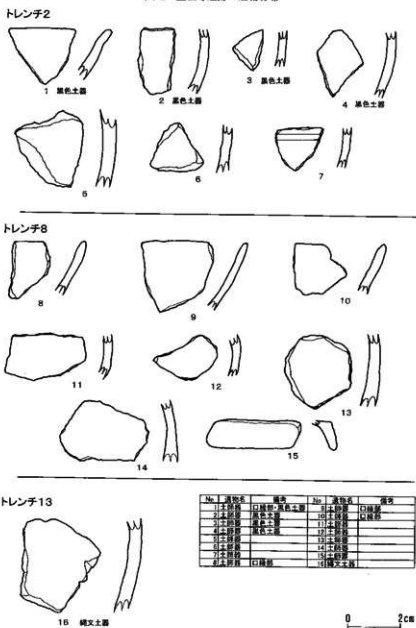


図22 雲仙寺遺跡の遺物分布



No.	遺物名	種別	No.	遺物名	種別
1	土器片	口縁部・褐色土器	11	土器片	口縁部
2	土器片	褐色土器	12	土器片	口縁部
3	土器片	褐色土器	13	土器片	口縁部
4	土器片	褐色土器	14	土器片	口縁部
5	土器片	褐色土器	15	土器片	口縁部
6	土器片	褐色土器	16	土器片	口縁部
7	土器片	褐色土器			
8	土器片	口縁部			
9	土器片	口縁部			
10	土器片	口縁部			
11	土器片	口縁部			
12	土器片	口縁部			
13	土器片	口縁部			
14	土器片	口縁部			
15	土器片	口縁部			
16	土器片	口縁部			

図23 雲仙寺遺跡の出土遺物

写真図版 1



1. 川久保遺跡の調査風景



2. 照月台遺跡の調査風景



3. 狐久保遺跡トレンチ2の調査風景



4. 狐久保遺跡トレンチ2の遺物出土状況



5. 東裏遺跡の調査風景



6. 東裏遺跡の遺物出土状況



7. 雲仙寺遺跡の調査風景

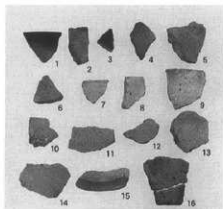


8. 雲仙寺遺跡の遺物出土状況

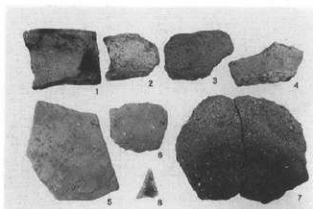




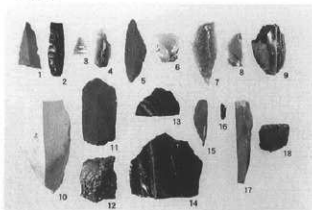
1. 川久保遺跡の遺物



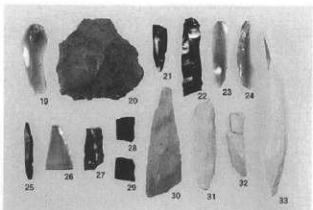
2. 壺仙寺遺跡の遺物



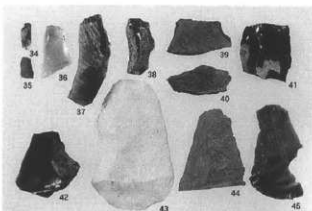
3. 狐久保遺跡の遺物



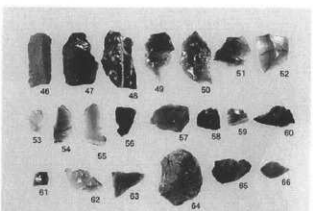
4. 東裏遺跡の遺物①



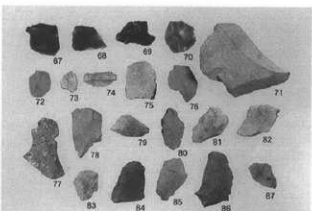
5. 東裏遺跡の遺物②



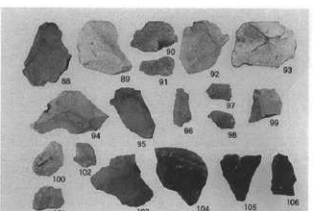
6. 東裏遺跡の遺物③



7. 東裏遺跡の遺物④



8. 東裏遺跡の遺物⑤



9. 東裏遺跡の遺物⑥



## 報告書抄録

平成14年度 町内遺跡発掘調査報告書								
書名	平成14年度 町内遺跡発掘調査報告書							
副書名								
シリーズ名	信濃町の埋蔵文化財							
シリーズ番号								
編著者名	渡辺哲也							
編集機関	信濃町教育委員会							
所在地	〒389-1305 長野県上水内郡信濃町大字柏原428-2 TEL: 026-255-5923							
発行年月日	2003年3月20日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
		市町村	遺跡番号					
かわくぼ 川久保	長野県上水内郡信濃町 大字野尻916-3	205834	33	36度 50分 17秒	138度 12分 20秒	20021118 ～ 20021120	7.2 (工事面積36)	下水道管 敷設
しょうげつだい 照月台	長野県上水内郡信濃町 大字野尻520-25	205834	46	36度 49分 38秒	138度 11分 44秒	20021002 ～ 20021003	8.5 (工事面積415)	住宅建設
あづま 狐久保	長野県上水内郡信濃町 大字野尻371	205834	42	36度 49分 33秒	138度 12分 19秒	20020422 ～ 20020426	38 (工事面積4204)	住宅建設
ひがし 36 東裏	長野県上水内郡信濃町 大字 柏原353-9ほか	205834	70	36度 48分 30秒	138度 12分 20秒	20020514 ～ 20020522	48 (工事面積541)	住宅建設
にのくさ 仁之倉A	長野県上水内郡信濃町 大字 柏原4388-1	205834	78	36度 47分 44秒	138度 10分 51秒	20021004	工事面積 236	工場建設
むこう 向原	長野県上水内郡信濃町 大字平岡223-1ほか	205834	144	36度 47分 13秒	138度 12分 32秒	20021023	工事面積 269	介護子防 施設建設
きんとう 霊仙寺	長野県上水内郡信濃町 大字大井2861-2ほか	205834	164	36度 44分 54秒	138度 10分 31秒	20021105 ～ 20021120	186 (工事面積約5000)	ため池 建設
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
川久保	散布地	旧石器時代 平安時代		石器 土師器など 43点				
照月台	散布地			出土品なし				
狐久保	散布地	弥生時代 近世		弥生土器 磁器など 103点				
東裏	散布地	旧石器時代 近世		ナイフ形石器 土器など 264点		神山型彫器を含む石器群を確認		
仁之倉A	散布地			出土品なし				
向原	散布地			出土品なし				
霊仙寺	寺跡	縄文時代 平安時代		縄文土器 土師器など 18点				

### 平成14年度町内遺跡発掘調査報告書

発行 平成15年(2003)3月20日  
 発行者 信濃町教育委員会  
 〒389-1305  
 長野県上水内郡信濃町大字柏原428-2  
 TEL.026-255-5923  
 印刷 信毎書籍印刷株式会社  
 〒381-0037  
 長野県長野市西和田470  
 TEL.026-243-2105

